

番組審議会 第649回

開催日 令和3年5月17日(月)

■委員の出席

委員総数 10名
出席委員数 10名

出席者

| | | |
|------|---------|---------|
| 委員長 | 音 好 宏 | |
| 副委員長 | 中 江 有 里 | |
| 委員 | 江 澤 佐知子 | 尾 縣 貢 |
| | 萱 野 稔 人 | 喜田村 洋 一 |
| | 佐 藤 智 恵 | 長 嶋 有 |
| | 藤 原 帰 一 | 水無田 気 流 |

TBSテレビ 佐々木 社 長
渡 辺 常 務
伊佐野 常 務
岩 田 取締役
瀬戸口 編成局長
安 田 コンテンツ制作局長
中 川 コンテンツ制作局
バラエティ制作一部長
上 田 コンテンツ制作局
バラエティ制作一部・プロデューサー
中 山 編成考査局長
鈴 木 編成考査局視聴者サービス部長
天 野 番組審議会事務局長

■議事概要

1. 審議事項

- (1) 「アイ・アム・冒険少年」 5月3日（月・祝）放送分
- (2) その他

2. 事務局報告事項

- (1) 視聴者からの声について
- (2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

（「アイ・アム・冒険少年」について）

□ゴールデンウィーク中のゴールデンタイムに、家族全員で見るのに非常に好ましいテーマだった。サバイバル系の番組は、芸能人や有名人を極限状態に置いて、追い詰められた状態を楽しむような意地悪な視点のものも多い中、この番組に関しては、そういうところがなかった。メンバーのバランスも良かった。

□出演者が、SDGs MSCアンバサダーという肩書で、ゴミのポイ捨てをしないよう呼びかけるコーナーがあった。やや、SDGsに触れよう、触れなくちゃいけないという要請がのぞいているような印象があった。視聴者に届くようSDGsをどう伝えるのか、取り上げ方は、大変難しい課題だと思った。

□今、YouTubeにできないテレビのバリューをすごく考えて、テレビ作りをすると思う。小回りならYouTubeに負けてしまうが、ひとまず山を一個買ってというレベルの、規模の大きいことが、今のテレビ作りの試行錯誤や見せ方の一つかと、感心した。

□料理番組などで、「30分経ったものがこちらに用意してあります」というのが、パッと出てくるのがよくあるが、一部、そんな感じを受けた。

□今後SDGs番組として育てていくのであれば、もう一工夫あるといい。例えば、再生エネルギーで料理をつくるとか、あばれる山で木を植えていくとか、SDGs観点からいろいろと発展できるのではないか。

□ナレーションで、盛り付けは女性の担当と、あえて「女性」と入れた部分があった。力仕事は男性、そうでないのは女性のような、役割分担を強調してしまうところは、気を付けた方がよいのではないか。

□牛乳からチーズをつくったり、小麦から小麦粉をつくったり、材料から食べ物をつくっていく過程は、子どもたちにも、食べ物大切さを伝えられたと思う。多くの子どもたちが視ていたと思うが、自然の中で、いろんなことを学ぶことは意義があると思う。

□緊急事態宣言下のゴールデンウィークの放送ということで、外出がなかなか厳しい中、自然体験をともに体感して、知的好奇心をくすぐるところまで、十分に出せていたのではないか。

□みんながそんなに簡単に山に行ってできるのか、色々なことが結構簡単にできてしまっていたが、できないことがあってもよかったのではないか。山のリスクやサバイバルのリスクを伝えることも大事なのではないか。

□ログハウスづくりやブランコづくり、チーズづくりやピザづくり、全部完成しなくてもよかったのではないか。途中経過のところまでのものや、もたもたしているシーンもたくさんあった方が、よりリアリティがあるし、親近感も感じられたのではないか。

* T B S では、番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (T B S テレビ番組審議会事務局)